

令和2年度 事務事業評価シート（令和元年度 事務事業分）

所属 01010603000000

水道環境部

生活環境課

事務事業	00001 再生可能エネルギー推進事業					
	施策体系	030112（環境の保全・創造）環境を創造する活動の推進				
	業務の種類	ソフト事務事業	事業期間	平成20年度 ～		
	新規・継続	継続	実施主体	市		
	補助金状況	市単独事業	事務の種類	自治事務		
対象	家庭や給食センターからでる廃食用油					
事務事業目的	資源循環型の社会実現に向けて、ごみの減量化やリサイクルの推進とともに、環境教育や美化活動などを促進する					
事務事業内容	分別回収して、廃食用油を原料としたバイオ燃料などへのリサイクルを図り、ごみ収集車燃料等への有効利用を図る					
計画法令	橋本市ごみ処理基本計画					
成果指標	1. 市のバイオ燃料使用量					
活動指標	1. 廃食用油回収量					
目標達成状況			平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
	成果指標 1	[k g]	0.00	0.00	0.00	0.00
	成果指標 2	[]	0.00	0.00	0.00	0.00
	活動指標 1	[k g]	28,813.00	26,920.00	27,378.00	25,660.00
	活動指標 2	[]	0.00	0.00	0.00	0.00
活動指標 3	[]	0.00	0.00	0.00	0.00	
成果効果	燃料としての利用は、現在の車両では使用できないため、既に一定の役割を終えたと考える。しかしながら、ごみの減量と焼却による地球温暖化ガスの削減につなげ、かつ資源としての利用が可能なことから、精製・再生に取り組む企業に売却している。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	生ごみ及び有機性汚泥のバイオガス発電を業者と検討している。					

(単位：千円)

	NO	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		実績	実績	実績	実績	当初予算
コスト分析	財源内訳					
	国庫支出金	(1)	0	0	0	0
	都道府県支出金	(2)	0	0	0	0
	地方債	(3)	0	0	0	0
	その他	(4)	0	0	0	0
	一般財源	(5)	0	3	0	0
	事業費	(6)	0	3	0	0
	人件費	(7)	2,660	244	402	2,346
	正職員数	(8)	0.48	0.03	0.07	0.40
	トータルコスト (6)+(7)	(9)	2,660	247	402	2,346
	住民基本台帳人口	(10)	64,150	63,486	62,788	62,206
市民一人当たりのコスト (9)/(10) (単位：円)	(11)	41	4	6	38	

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名 称
	1	廃油精製業務委託
	2	エコオフィス推進事業
	3	再生可能エネルギー推進業務
	4	その他新エネルギー(EV等)推進業務
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

令和2年度 事務事業評価シート（令和元年度 事務事業分）

所属 01010603000000

水道環境部

生活環境課

事務事業	00002 動物等保護及び管理対策事業					
	施策体系	030112（環境の保全・創造）環境を創造する活動の推進				
	業務の種類	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ～		
	新規・継続	継続	実施主体	市		
	補助金状況	市単独事業	事務の種類	自治事務		
対象	・橋本市内に住所を有する、犬の飼い主 ・一般市民					
事務事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 適切な犬の飼育の促進と狂犬病予防対策に努める 野良犬を減らし市民に対し衛生的な環境を作る 市民の衛生的暮らしの確保に努める 					
事務事業内容	・畜犬の登録管理と定期的な狂犬病予防注射を実施する					
計画法令	・狂犬病予防法					
成果指標	1. 犬登録頭総数 2. 狂犬病予防注射接種率					
活動指標	1. 犬新規登録関係数 2. 狂犬病予防注射頭数 3. その他動物等苦情相談件数					
目標達成状況			平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
	成果指標 1	[頭]	3,649.00	3,681.00	3,445.00	3,355.00
	成果指標 2	[%]	68.00	68.00	72.00	69.00
	活動指標 1	[頭]	220.00	194.00	181.00	188.00
	活動指標 2	[頭]	2,499.00	2,505.00	2,477.00	2,327.00
			24.00	23.00	13.00	25.00
成果効果	飼い主の動物愛護の意識も定着してきているものの、現状を維持する為に継続して本事業を行う必要がある。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	野良猫対策においては保健所の業務であるが、市民から切実な要望があれば、市では他施策に誘導した取り組みを進めている。					

(単位：千円)

	NO	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		実績	実績	実績	実績	当初予算
コスト分析	財源内訳					
	国庫支出金	(1)	0	0	0	0
	都道府県支出金	(2)	0	0	0	0
	地方債	(3)	0	0	0	0
	その他	(4)	144	108	109	116
	一般財源	(5)	0	0	0	0
	事業費	(6)	144	108	109	116
	人件費	(7)	4,096	3,801	3,730	5,865
	正職員数	(8)	0.57	0.45	0.65	1.00
	トータルコスト (6)+(7)	(9)	4,240	3,909	3,839	5,981
	住民基本台帳人口	(10)	64,150	63,486	62,788	62,206
市民一人当たりのコスト (9)/(10) (単位：円)	(11)	66	62	61	96	

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名 称
	1	狂犬病予防対策事業
	2	動物等保護及び管理業務
	3	その他動物保護及び管理対策に関する業務
	4	化製場法に関する業務
	5	そ族に関する業務
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

令和2年度 事務事業評価シート（令和元年度 事務事業分）

所属 01010603000000

水道環境部

生活環境課

事務事業	00003 その他環境保全業務					
	施策体系	030112（環境の保全・創造）環境を創造する活動の推進				
	業務の種類	ソフト事務事業	事業期間	平成20年度 ～		
	新規・継続	継続	実施主体	市		
	補助金状況	市単独事業	事務の種類	自治事務		
対象	・橋本市民からの苦情 ・行政					
事務事業目的	環境保全の促進を図る。					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄・振動騒音・空き地の適正管理について環境監視員の協力を得ながら迅速かつ適切な対応をとる 環境基本計画や産業廃棄物処理施設の設置等に対し、市長に意見を述べる等 					
計画法令	橋本市環境保全条例					
成果指標	1. 不法投棄・苦情等処理件数					
活動指標	1. 苦情等相談件数 2. 不法投棄処理手数料					
目標達成状況			平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
	成果指標1	[件]	39.00	44.00	37.00	74.00
	成果指標2	[]	0.00	0.00		
	活動指標1	[件]	158.00	170.00	256.00	356.00
	活動指標2	[円]	122,759.00	229,008.00	130,480.00	121,186.00
活動指標3	[]	0.00	0.00	0.00		
成果効果	<p>本年度は、苦情における全体の件数が100件増加となっており、不法投棄における苦情等処理件も74件（昨年度の倍）と増加しているが、不法投棄処理手数料は約9,000円減額となっている。これは、家電4品目やタイヤ等の件数について減少していることによるものである。不法投棄において、家電4品目やタイヤ等不法投棄は目に付きやすく、環境監視員によるパトロール等により、不法投棄に対する一定の抑止効果は出ていると思われる。一方、ゴミ袋やレジ袋に入れたゴミを不法投棄する行為が増加している。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	<p>不法投棄は、市内各所である。通報があれば、監視員が現地に赴き、確認の後、回収できるものは回収を行っている。今後とも自治会等の協力を得て不法投棄抑止に繋げていく、特に、頻発する箇所には監視カメラの設置も行っている。常習性の高い悪質な事業者に対しては、保健所や関係機関と協力し、強力で指導していく。</p>					

(単位：千円)

	NO	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		実績	実績	実績	実績	当初予算
コスト分析	財源内訳					
	国庫支出金	(1)	0	0	0	0
	都道府県支出金	(2)	0	0	0	0
	地方債	(3)	0	6,600	0	0
	その他	(4)	0	372	0	0
	一般財源	(5)	6,176	9,627	6,082	3,573
	事業費	(6)	6,176	16,599	6,082	3,573
	人件費	(7)	12,040	11,092	15,493	7,038
	正職員数	(8)	1.87	1.67	2.70	1.20
	トータルコスト (6)+(7)	(9)	18,216	27,691	21,575	10,611
	住民基本台帳人口	(10)	64,150	63,486	62,788	62,206
市民一人当たりのコスト (9)/(10) (単位：円)	(11)	284	436	344	171	

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名 称
	1	不法投棄等環境監視事業
	2	環境保全審議会事務
	3	環境基本計画事務
	4	地球温暖化防止実行計画業務
	5	公害に関する業務
	6	産廃・公害関係水質検査業務
	7	環境関連手続き（廃棄物処理場設置申請、特定施設設置届出）業務
	8	その他環境保全に関する業務
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

令和2年度 事務事業評価シート（令和元年度 事務事業分）

所属 01010603000000

水道環境部

生活環境課

事務事業	00001 生ごみ堆肥化・減量化集団実施奨励事業					
	施策体系	030121（環境衛生）減量化、再使用、再生利用の推進				
	業務の種類	補助金交付事業	事業期間	平成18年度	～	令和3年度
	新規・継続	継続	実施主体	市		
	補助金状況	市単独事業	事務の種類	自治事務		
対象	区・自治会					
事務事業目的	資源循環型の社会実現に向けて、ごみの減量化やリサイクルの推進とともに、環境教育や美化活動などを促進する					
事務事業内容	<p>一般家庭から排出される生ごみを堆肥化・減量化し、可燃ごみの収集回数を軽減する区・自治会に奨励金（400円/年・世帯）を交付する</p> <p>(1) 区・自治会内の概ね8割を超える世帯で衛生的かつ継続して生ごみを堆肥化、減量化すること</p> <p>(2) 堆肥化、減量化された生ごみを有効に活用すること</p> <p>(3) 可燃ごみの収集を週1回以下とすること</p>					
計画法令	橋本市生ごみ堆肥化・減量化集団実施奨励金交付要綱					
成果指標	<p>1. 区・自治会の実施率</p> <p>2. 対象区・自治会数</p>					
活動指標	1. 説明回数対象					
目標達成状況			平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
	成果指標1	[%]	79.00	80.00	81.00	88.00
	成果指標2	[]	86.00	87.00	89.00	97.00
	活動指標1	[回]	26.00	36.00	32.00	8.00
	活動指標2	[]	0.00	0.00	0.00	0.00
活動指標3	[]	0.00	0.00	0.00	0.00	
成果効果	可燃ごみ収集週2回の区・自治会をを中心に説明会を行ったことで、週1回収集への理解が深まり、説明会の効果が見られる。					
評価	今後の方向性	休廃止の方向で検討				
	過去の経緯から三年間の猶予期間があったが、それも終了するに伴い本事業は終了する。なお、事業終了の周知は早めに行うこと。					

(単位：千円)

	NO	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		実績	実績	実績	実績	当初予算
コスト分析	財源内訳					
	国庫支出金	(1)	0	0	0	0
	都道府県支出金	(2)	0	0	0	0
	地方債	(3)	0	0	0	0
	その他	(4)	0	0	0	0
	一般財源	(5)	17,550	12,046	6,134	6,627
	事業費	(6)	17,550	12,046	6,134	6,627
	人件費	(7)	720	1,343	1,721	3,519
	正職員数	(8)	0.10	0.18	0.30	0.60
	トータルコスト (6)+(7)	(9)	18,270	13,389	7,855	10,146
	住民基本台帳人口	(10)	64,150	63,486	62,788	62,206
市民一人当たりのコスト (9)/(10) (単位：円)	(11)	285	211	125	163	

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名称
	1	生ごみ堆肥化・減量化集団実施奨励金
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

令和2年度 事務事業評価シート（令和元年度 事務事業分）

所属 01010603000000

水道環境部

生活環境課

事務事業	00002 ごみ収集ボックス設置補助事業					
	施策体系	030121（環境衛生）減量化、再使用、再生利用の推進				
	業務の種類	補助金交付事業	事業期間	平成18年度～		
	新規・継続	継続	実施主体	市		
	補助金状況	市単独事業	事務の種類	自治事務		
対象	区及び自治会					
事務事業目的	資源循環型の社会実現に向けて、ごみの減量化やリサイクルの推進とともに、環境教育や美化活動などを促進する					
事務事業内容	ごみ収集ボックスやカラスネットの設置に対し、費用の2分の1以内（上限10万円）の補助金を交付する					
計画法令	橋本市ごみ収集ボックス設置補助金交付要綱					
成果指標	1. 設置数					
活動指標	1. 申請件数					
目標達成状況			平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
	成果指標1	[箇所]	93.00	49.00	42.00	38.00
	成果指標2	[]	0.00	0.00	0.00	0.00
	活動指標1	[件]	44.00	32.00	36.00	38.00
	活動指標2	[]	0.00	0.00	0.00	
活動指標3	[]	0.00	0.00	0.00	0.00	
成果効果	収集場所の整備により、動物による被害防止や収集場所の管理の負担軽減などの効果が見られ、区・自治会で補助を活用した整備が進められている。 また、可燃ごみ収集週1回化に向けて、収集場所の整備を進めている。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	可燃ごみ収集全市週1回化に向けて今後も助成が必要。					

(単位：千円)

	NO	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		実績	実績	実績	実績	当初予算
コスト分析	財源内訳					
	国庫支出金	(1)	0	0	0	0
	都道府県支出金	(2)	0	0	0	0
	地方債	(3)	0	0	0	0
	その他	(4)	0	0	0	0
	一般財源	(5)	2,498	1,606	1,763	1,840
	事業費	(6)	2,498	1,606	1,763	1,840
	人件費	(7)	324	1,704	2,467	2,346
	正職員数	(8)	0.06	0.23	0.43	0.40
	トータルコスト (6)+(7)	(9)	2,822	3,310	4,230	4,186
	住民基本台帳人口	(10)	64,150	63,486	62,788	62,206
市民一人当たりのコスト (9)/(10) (単位：円)	(11)	44	52	67	67	

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

令和2年度 事務事業評価シート（令和元年度 事務事業分）

所属 01010603000000

水道環境部

生活環境課

事務事業	00003 生ごみ処理機購入補助事業					
	施策体系	030121（環境衛生）減量化、再使用、再生利用の推進				
	業務の種類	補助金交付事業	事業期間	平成18年度	～	令和3年度
	新規・継続	継続	実施主体	市		
	補助金状況	市単独事業	事務の種類	自治事務		
対象	処理機器を設置し、生ごみ等の排出を避けようとする者					
事務事業目的	資源循環型の社会実現に向けて、ごみの減量化やリサイクルの推進とともに、環境教育や美化活動などを促進する					
事務事業内容	生ごみ処理機を購入に対し、購入金額の半額（上限有り）一定補助金を交付する					
計画法令	橋本市生ごみ処理機器購入補助金交付要綱					
成果指標	1. 補助金交付金額					
活動指標	1. 申請件数					
目標達成状況			平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
	成果指標1	[千円]	1,357.20	1,134.10	1,578.40	1,392.40
	成果指標2	[]	0.00	0.00	0.00	0.00
	活動指標1	[件]	24.00	35.00	48.00	43.00
	活動指標2	[]	0.00	0.00	0.00	0.00
活動指標3	[]	0.00	0.00	0.00	0.00	
成果効果	可燃ごみ収集週1回化に向けて、市民が積極的にごみ減量に取り組んでいる成果が見られる。特に現在週2回収集の地域からの申請が多い。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	現在の交付要綱では収集週1回地区の申請者の補助率が高いが、令和4年度からマンションを除き全市で可燃ごみ収集週1回となる予定のため、令和4年度以降の交付要綱について見直しを検討すること。また、併せて、買い替えについても交付対象とすべきか、ごみ減量化推進の観点から検討をおこなうこと。					

(単位：千円)

		NO	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			実績	実績	実績	実績	当初予算
コスト分析	財源内訳						
	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	
	都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	
	地方債	(3)	0	0	0	0	
	その他	(4)	0	0	0	0	
	一般財源	(5)	1,119	1,135	1,583	1,397	
	事業費	(6)	1,119	1,135	1,583	1,397	
	人件費	(7)	1,467	1,133	2,410	3,519	
	正職員数	(8)	0.25	0.18	0.42	0.60	
	トータルコスト (6)+(7)	(9)	2,586	2,268	3,993	4,916	
	住民基本台帳人口	(10)	64,150	63,486	62,788	62,206	
市民一人当たりのコスト (9)/(10) (単位：円)	(11)	40	36	64	79		

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

令和2年度 事務事業評価シート（令和元年度 事務事業分）

所属 01010603000000

水道環境部

生活環境課

事務事業	00004 生ごみ減量及び堆肥化啓発事業（衛生自治会連携）					
	施策体系	030121（環境衛生）減量化、再使用、再生利用の推進				
	業務の種類	ソフト事務事業	事業期間	平成22年度 ～		
	新規・継続	継続	実施主体	市		
	補助金状況	市単独事業	事務の種類	自治事務		
対象	市民					
事務事業目的	資源循環型の社会実現に向けて、ごみの減量化やリサイクルの推進とともに、環境教育や美化活動などを促進する					
事務事業内容	衛生自治会との連携を図り、生ごみ減量及び堆肥化講習会の開催等し、ごみ減量化の啓発を行う					
計画法令						
成果指標	1. 生ごみ堆肥化講習会参加数					
活動指標	1. 生ごみ堆肥化講習会					
目標達成状況			平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
	成果指標 1	[人]	304.00	1,274.00	688.00	1,532.00
	成果指標 2	[]	0.00	0.00	0.00	0.00
	活動指標 1	[回]	157.00	264.00	135.00	128.00
	活動指標 2	[]	0.00	0.00	0.00	0.00
活動指標 3	[]	0.00	0.00	0.00	0.00	
成果効果	地区の説明会だけではなく、区・自治会主催の陶磁器リサイクル市での啓発活動を行った結果、新規で生ごみ堆肥化に取り組んでいただく方が増えてきている。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	可燃ごみ減量化の切り札として、今後とも広く展開する。					

(単位：千円)

	NO	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		実績	実績	実績	実績	当初予算
コスト分析	財源内訳					
	国庫支出金	(1)	0	0	0	0
	都道府県支出金	(2)	0	0	0	0
	地方債	(3)	0	0	0	0
	その他	(4)	0	0	0	0
	一般財源	(5)	9,364	9,751	9,689	9,653
	事業費	(6)	9,364	9,751	9,689	9,653
	人件費	(7)	1,032	569	2,869	3,519
	正職員数	(8)	0.19	0.11	0.50	0.60
	トータルコスト (6)+(7)	(9)	10,396	10,320	12,558	13,172
	住民基本台帳人口	(10)	64,150	63,486	62,788	62,206
市民一人当たりのコスト (9)/(10) (単位：円)	(11)	162	163	200	212	

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名 称
	1	ごみ減量化啓発業務
	2	生ごみ堆肥化フォローアップ業務
	3	生ごみの減量・堆肥化啓発業務
	4	衛生自治会活動委託事業
	5	家庭用生ごみ処理機等貸出事業
	6	その他衛生自治会に関する業務
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

令和2年度 事務事業評価シート（令和元年度 事務事業分）

所属 01010603000000

水道環境部

生活環境課

事務事業	00005 塵芥処理事業					
	施策体系	030121（環境衛生）減量化、再利用、再生利用の推進				
	業務の種類	ソフト事務事業	事業期間	平成27年度～		
	新規・継続	継続	実施主体	市		
	補助金状況	市単独事業	事務の種類	自治事務		
対象	市内で発生する一般廃棄物等					
事務事業目的	陶磁器リサイクル市で残った陶磁器類をリサイクルし、彦谷最終処分場の延命につなげる。					
事務事業内容	区・自治会主催の陶磁器リサイクル市の開催により、残った陶磁器等をリサイクル業者へ持込みリユース・リサイクルを行う。 埋立ごみを減らし彦谷最終処分場使用の延命につなげる。 また、市民にもリユース・リサイクルの意識付けを行う。					
計画法令						
成果指標	1. リサイクル量 2. リサイクル費用					
活動指標	1. 陶磁器リサイクル市開催回数					
目標達成状況			平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
	成果指標1	[k g]	7,730.00	20,910.00	27,280.00	19,880.00
	成果指標2	[]	44,063.00	145,623.00	190,477.00	136,505.00
	活動指標1	[回]	3.00	8.00	14.00	11.00
	活動指標2	[]	0.00	0.00	0.00	0.00
活動指標3	[]	0.00	0.00	0.00	0.00	
成果効果	市民のリユース・リサイクルへの意識をあげることができている。また、埋立処分量が減り、リユース・リサイクルされる量が増えてきている。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	環境イベントとして定着してきており、埋立て処分量を削減することで、処分場の延命に寄与している。陶磁器市の開催推進とリユース・リサイクルの啓発に努めること。なお、ごみ対策補助金のうち陶磁器市分については開催した区・自治体の構成世帯数に応じた補助額となっているが、市場に参加した世帯数に応じた補助金にするなど、参加者増加を促進できないか検討すること。					

(単位：千円)

	NO	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		実績	実績	実績	実績	当初予算
コスト分析	財源内訳					
	国庫支出金	(1)	0	215	0	0
	都道府県支出金	(2)	0	0	0	0
	地方債	(3)	0	0	0	0
	その他	(4)	0	0	0	0
	一般財源	(5)	0	2,054	674	796
	事業費	(6)	0	2,269	674	796
	人件費	(7)	0	8,941	5,623	2,346
	正職員数	(8)	0.00	1.45	0.98	0.40
	トータルコスト (6)+(7)	(9)	0	11,210	6,297	3,142
	住民基本台帳人口	(10)	64,150	63,486	62,788	62,206
市民一人当たりのコスト (9)/(10) (単位：円)	(11)	0	177	100	51	

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

令和2年度 事務事業評価シート（令和元年度 事務事業分）

所属 01010604000000

水道環境部

環境美化センター

事務事業	00004 収集運搬自動車運行管理業務					
	施策体系	030122（環境衛生）適切な処理の推進				
	業務の種類	総務・庶務事務	事業期間	平成18年度 ～		
	新規・継続	継続	実施主体	市		
	補助金状況	市単独事業	事務の種類	自治事務		
対象	環境美化センター所有する作業車両の管理					
事務事業目的	ごみ収集日程表に基づいた一般廃棄物の収集運搬に支障をきたさないように、車両管理の徹底を期す。					
事務事業内容	ごみ収集日程表に基づいた一般廃棄物の収集運搬に支障をきたさないように、車両管理（車検、修理等）を行なう。					
計画法令	道交法					
成果指標	収集運搬自動車保有台数					
活動指標	収集車管理増減台数					
目標達成状況			平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
	成果指標1	[台]	14.00	14.00	14.00	14.00
	成果指標2	[]	0.00	0.00	0.00	0.00
	活動指標1	[台]	-1.00	0.00	0.00	0.00
	活動指標2	[]	0.00	0.00	0.00	0.00
	活動指標3	[]	0.00	0.00	0.00	0.00
成果効果	ごみ収集・運搬に支障をきたさないように、車両の運行管理ができた。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	直営部分が現存する以上公用車保有は必要。維持管理費用について今後とも削減に努める。					

(単位：千円)

	NO	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		実績	実績	実績	実績	当初予算
コスト分析	財源内訳					
	国庫支出金	(1)	0	0	0	0
	都道府県支出金	(2)	0	0	0	0
	地方債	(3)	0	0	0	0
	その他	(4)	0	0	0	0
	一般財源	(5)	7,040	7,359	8,390	5,990
	事業費	(6)	7,040	7,359	8,390	5,990
	人件費	(7)	4,619	4,557	3,156	11,613
	正職員数	(8)	0.55	0.55	0.55	1.98
	トータルコスト (6)+(7)	(9)	11,659	11,916	11,546	17,603
	住民基本台帳人口	(10)	64,150	63,486	62,788	62,206
市民一人当たりのコスト (9)/(10) (単位：円)	(11)	182	188	184	283	

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名 称
	1	ごみ収集車維持管理事業
	2	ごみ収集車購入売却業務
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		